

# 食育にSDGsの観点

## 町の第2次推進計画まとまる

「第2次下諏訪町食育推進計画」(2023～32年度)がまとまった。今回からSDGs(持続可能な開発目標)の観点を盛り込み、未来につながる持続可能な食行動の推進を目標に、町関係団体が連携

して「食育」に取り組んでいく。コンセプトに「主食(ごはん)・主菜・副菜のそろった食事で健康に!地球にやさしく!」を掲げた。

三つの基本目標として、▽人と人がつながる食育の推進▽健康につながる食育の推進▽未来につながる持続可能な食行動の推進」を明記。基本目標を達成するため

の三つの取り組みでは、食を通じた交流の機会の充実や朝ごはんなどよい食習慣づくり、食品ロス削減や食生活へのジビエの導入など環境に優しい食育の推進などを掲げた。テーマごと

に12個の絵文字「食育ピクトグラム」も付

け、目指す方向性を明確にしただ。計画は、第1次計画の最終年度に当たる22年度に、栄養士や食生活改善推進協議会、生ごみリサイクル事業推進委員会など食に関わる団体の代表ら8人でつくる策定委員会を設置して協議してきた。昨年12月のパブリックコメントを経てまとめた。6日、小島英太郎委員長と佐々裕子副委員長が宮坂徹町長に計画を答申した。

答申で、小島委員長は「日本の豊富な水資源や自然の恵みに感謝する心を育むとともに、適量を食べることや地産地消など一人ひとりができる取り組みを盛り込んだ計画とした」と述べた。



宮坂町長(右)に「第2次下諏訪町食育推進計画」を答申した策定委の小島委員長(中)と佐々副委員長

とに12個の絵文字「食育ピクトグラム」も付